



藤枝市茶手揉保存会様より今年も手揉み茶を寄贈いただきました

菜の花
特養版
平成30年11月号
社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花

はじめまして、ここへ来て 早四ヶ月になります。実はここへ来る前は二年程、保育士をやっていました。二十代は保育士、三十代からは、介護職や生活相談員、ケアマネ等です。

子供とお年寄りの共通点であるんですよ。それは、周りを癒やしてくれる存在だということです。さて、私のここの仕事ですが、担当者会議の開催やその調整 ケアプランの作成など…(食事介助もしながら寄り添う機会をつくっています)。特に担当者会議は入居者様にとって重要です。「エー会議、そんな堅苦しいのはイヤ!何を話せばいいの?」とお思いの方も多いでしょうね。でもみんな一人の方の為に心を尽くし知恵を出し合い、より良く生活をして頂くにはどうしたらいいのだろうと真剣に真摯に考えていく、そこが大切なんだと思います。「三人寄れば文殊の知恵」と申します。一人の人を色々な角度(視点)から見っていくと、全体像がより明確になります。

問題点もわかりやすく、解決する可能性も広がります。自分一人ではできないけれど、みんなで支え合えばできるのだと思つたのです。(年一度くらいは参加して頂けたら、と思います)ただ、やはり寿命はあります。私が「菜の花」に来てまもなく、一人の方が亡くなりました。

(うーん、やはりここは特養なんだなあ)と改めて思いました。「死生観」の確立を自分の中でしていかなければと痛感しました。色々な言葉があります。

「長く生きたから幸せ、短いから不幸せ」というのは人間の傲慢だ。「確かにどう生きたかが問題です。」

「死の瞬間まで、魂は成長する」キユーブラロス

人間は「死」の極みまでわかっているんだな、そしてその瞬間まで学んでるんだ(うーん)

「死の極みまでその人を愛した」イエスやマザーテレサ

ひところ 施設ケアマネ 斎藤正子

「人間は魂存在である」どんな状態になった人でもそう接していくということ
又「死は隠すものではない、死だつて生の一環だ」と明るく語った鳥海さん(講師)：死は「無」になることではないと思います。
その人の大切にしていた思いや言葉や生き方を胸に抱き、生きることでしょうか。
私ができること何だろうー
その人の生い立ちや背景を知りどう生きてきたか、そう生きなければならなかった思いや人生に共感しながらお話を聴かせて頂く
話せない方には、その背景を知る努力をし語りかけることー
本来は、それをしていきたいんだと思いました。皆さんに健やかに天寿を全うして頂きたいと心から願っています。

感染症にご注意ください
感染症が流行しやすい時期が近づいています。せき・鼻水・下痢など、感染症のおそれがある場合は、面会をご遠慮ください。

また、地域の感染症の流行状況により、**面会制限を行う場合**があります。

平成二十七年～平成二十九年冬は翌年一月中旬頃より三～四月中旬まで、面会制限を行いました。制限中は、遠方の方など、個別の事情によって一階フロアなどでの面会となります。

今年も流行状況により、期間は変動する見込みです。

年末年始の外泊・外出について
お出かけやお泊りの予定がわかりましたらお知らせください。

お手回り品やお薬などをご用意いたします。なお、定期的に感染症が流行している場合があります。施設への感染症持ち込みを防ぐ為、人混みへの不必要な外出はお避けください。



菜の花 研修会
テーマ：「入居者及び利用者の排泄支援を通して快適性と尊厳を学ぶ」
講師：田中とも江 先生

平成30年10月26日 菜の花に田中とも江先生をお迎えし、排泄に対する研修を開催いたしました。

田中先生は拘束廃止研究所及びオムツ外し研究所の所長を務められ、身体拘束や排泄ケアを通じ利用者様の『尊厳』とは何か?私たち対人援助関係の職に携わる者としてどのような感性を持ちかかわっていかねばならないのか?を常日頃から投げかけて下さっています。

普段は関東圏を中心にご活躍されている田中先生の講演を、身近な施設で聴講できることもあり、県内さまざまな事業所から問い合わせをいただき 当日は藤枝市内に留まらず熱海市など遠方から参加して下さる方もおりたいへん活気に満ちた講演会となりました。

「オムツ」=「トイレ」ではない、排泄を見直す事はその方の生活を見直すことにつながっていく。その為には利用者様の一番身近にいる私たち職員が利用者様の発するサイン(表情や仕草など)を注意深く観察し気づきを得る事、その気づきを具体的なケアとして実践していくために試行錯誤し工夫を凝らしていくことが大切であると学ぶことが出来ました。

「食」「排泄」「入浴」「休む」「喜怒哀楽」は全て繋がっており人が生きていくためには必要な要素です。「排泄ケア」を単なる尿や便を始末するケアとしてとらえず、人間らしい生活をする上で欠かせないケアだということを心に刻みこれからの介護に役立てることが出来るよう職員一同邁進していきたいです。(介護教育主任佐藤葉子)



公開資料・菜の花だよりは、ホームページからご覧いただけます。 <http://seikeikai.info/> ただいま「ユニット特集」を掲載中です。次回は12月号で瀬戸ユニット特集を予定しています。お楽しみに!

発行：社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花
電話：054-646-7087 編集：中村

今月以降の行事予定(現在決定分)

11月21日	華道倶楽部
28日	書道紙倶楽部
12月14日	手芸倶楽部
19日	華道倶楽部
26日	書道倶楽部
日程未定	年末恒例にぎり鮎
31日	年越し蕎麦
1月1日	元日 おせち料理メニュー



絵手紙倶楽部 10月5日
秋の恵みを描きました。
季節のおやつ、おはぎは、
描いてから美味しくいただき
ました。一層秋を感じること
ができました
(美味し〜い!)

書道倶楽部 10月10・24日



書

書道倶楽部のおなじみのメンバーで、書を楽しみました。「文化の秋」、ですね!

寿ユニットの手芸倶楽部 10月25日



「可愛い!」「モダンだね」と、秋のリース作りは大好評。
とても素敵に仕上がりました。クリスマスまで飾れそうです。

4階 フルート演奏



当日は、大勢の入居者様が参加され
ました。懐かしい曲や最近流行の曲な
どが巧みに演奏され、途中のトークで
更にヒートアップ!!とても楽しく
て、時の経つのを忘れませんでした。

華道倶楽部
10月25日



先日の台風の影響でしょうか、秋にはめずらしい本物の桜が
咲いた枝もあって、華やかなアレンジメントができました。
清流館高校の実習生さんと楽しい一時でした。

3階 健康倶楽部 10月9日



懐かしの歌の体操プログラムを利用して、
みんなで楽しく身体を動かしました。



小林健斗です。
二十歳になりました!

松永香代子です。
モットーは、「いつも笑顔で!」

4階主任 飛驒敏一
「まだまだ未熟者です。」

富士ユニットリーダー 野上初美です。
ユニットでは お母さん、お姉さん先生
と呼ばれています(笑)

富士ユニットです!

富士山を眺めることができる、富士ユニットです。
ユニットでは、「落ち着けて笑顔のある生活」を心がけて
います。日常の「ありがとう・助かるよ・美味しいね」など
の言葉が聞かれ、笑顔になり明るい表情が見られると嬉しく
思います。ご家族様の面会も多く、他の入居者様ともふれ合
い楽しい会話で寄り添って下さって感謝しております。
これからもよろしく願いいたします。

Healing <ヒーリング>

意味 くほっとする・心と身体の健康を回復・大宇宙に充滿する命>

11月の*Healing*は「100歳万歳」です。

菊香る小晴日和の11月3日当施設入所者の「仙島崧久様」が100歳の誕生日を迎えられました。「崧久」というお名前は同じ誕生日の明治天王の菊のご紋にあやかかって付けられた様です。総理大臣から素晴らしいお祝いも届き、施設中が大喜びの一日でした。

現在、なお達者な、「崧久様」幾重にもおめでとうございませう。

百寿(紀寿)100歳を迎えられた方は一世紀を生きられています、100歳でも、まだ、人生の通過点に過ぎません。先日ご本人に長生きの秘訣をインタビューしました。

子供の頃のお話しが主で「子供の頃は山に行つて石を拾つて、川に行つて石投げをした。女の子が少ないので、男の子と遊んだ。勉強は嫌いで運動会が大好きで玉入れで玉が入ると自慢して、天狗になる。兄弟が5人で四番目。食べる物は何でもたべる。

名前は七が3つの「崧久」いい名前でしょ〜う」何と、すらすらと目を細めて話されました。

今も、変わらず「お茶目で元気な少女?」正に「100歳万歳!!」です。

寿

*100歳以上の方は全国で6万7千824人静岡県では3千675人藤枝市では28人
その中のお一人「崧久様」と生活を共にできることは、大変光栄な事で、感謝致します。